



地区青少年奉仕委員会では、地区内での青少年奉仕活動を共有するとともに、各クラブの青少年奉仕活動をさらに充実させるため、「青少年奉仕情報」を発行しております。各クラブの青少年奉仕活動をご紹介するだけでなく、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、職場体験・インターンシップの活動についてもご紹介してまいります。ご愛読、そしてクラブ内への情報共有をよろしくお願いいたします。

第22号は、青少年奉仕からは下記のとおり「ロータリーファミリーパーティ」など、
P.3～ 東京北ロータリークラブ、東京東江戸川ロータリークラブの活動など
P.5～ インターアクトから、「第25回 国際通りクリーン奉仕活動」など、
P.8～ ローターアクトから、「スクールACT」の開催、各クラブの例会案内など
P.12～ 青少年交換から、「フィールドトリップ（手話教室とブラインド体験）」などの掲載がございます。また、P.7に「青少年奉仕の基礎知識／ジャパントゥアー」です。

1. 地区青少年奉仕委員会の活動（ご報告）

① ロータリーファミリーパーティを開催しました

2月1日（水曜日）、国際ロータリー第2580地区の地区大会1日目に「ロータリーファミリーパーティ」を開催しました。当日は、ロータリアン、ロータリーフェローズ東京、ロータリー平和フェロシップ、米山学友会、米山奨学生、ROTEX、ローターアクターと多くのロータリーファミリーとの交流を行いました。ローターアクターが、レクリエーションとして「マシュマロチャレンジ」の企画を用意してくれました。この企画では、乾麺パスタ、マシュマロ、テープ、ひもを使い、一番上にマシュマロを置いて高さを競うというものです。作業は単純なのですが、チームの協力が必要となっているゲームです。

ローターアクターからは、「これからも多くの方との出会いを大切にしたいと感じた一日になりました」との感想をいただきました。



② 国際ロータリー第2580地区のホームページに、インターアクトとローターアクトの紹介ページ設置

地区青少年奉仕委員会では、国際ロータリー第2580地区のホームページに、インターアクトとローターアクトの紹介ページを設置することを上山昭治ガバナーに要望し、ご快諾を得ました。国際ロータリー第2580地区のホームページをご確認いただき、もし出来ましたら、各クラブのホームページからリンクを貼っていただければと存じます。なお、青少年奉仕部門の「職場体験・インターンシップ」と「青少年交換プログラム」はすでに紹介ページがあります。

インターアクト紹介ページ→ <http://www.rid2580.org/act/>

ローターアクト紹介ページ→ <http://www.rid2580.org/act/rotaract.html>

③ 4月23日（日曜日）、在京／地区青少年奉仕包括成果発表会を開催します！

4月23日（日曜日）、地区青少年奉仕包括成果発表会／第5回（在京）を開催します。インターアクト・ローターアクト・青少年交換が成果発表を行うとともに、各クラブの会長、青少年奉仕担当委員長にお越しいただき、インターアクト・ローターアクト・青少年交換との交流、コミュニケーションの機会とします。

クラブ宛てにご案内を差し上げましたので、ぜひご参加よろしく申し上げます。

④ 本年度実施の「青少年奉仕アンケート」のトピック

- 全体的な印象としては、青少年奉仕活動が活発に行われているクラブが多数ある一方、会員数の減少や高齢化、旗振り役の不在から青少年奉仕活動が低調となっているクラブもあります。また、クラブ内における青少年奉仕活動の情報共有がうまくいっていないのではないかと推測される回答もあります（回答者である青少年奉仕委員長がクラブ内の青少年奉仕活動を把握していない）。クラブ内の情報共有はクラブの円滑な運営のために重要なポイントになるのではないのでしょうか。
- インターアクトクラブを提唱することを検討しているクラブは5クラブありました（前年のアンケートでは9クラブでした）。また、他クラブにて提唱しているインターアクトクラブへの協力を検討しているクラブは13クラブです。
- ローターアクトクラブを提唱することを検討しているクラブは7クラブありました（前年のアンケートでは9クラブでした）。また、他クラブにて提唱しているローターアクトクラブへの協力を検討しているクラブは11クラブです。
- 中学生職場体験・高校生インターンシップは、25クラブで実施されており、第2580地区の青少年奉仕活動の特色といえそうです。クラブというよりは会員各人（事業所ごと）における活動となっています。ただし、前年度は33クラブでした。

2015年4月から2017年3月までで、中学生職場体験、高校生インターンシップの受入れを行っている場合についても質問を行いました。受入れの生徒数、事業者数、時期についてです。回答によりますと、中学生の受入れが214名（前年度調査、377名）、高校生の受入れが105名（前年度調査、128名）と大学生の受入れが1名となっています。中学生の受

入れは、地域の中学校からがほとんどになっています。特筆すべきは、東京小平ロータリークラブは 150 名の受入れをされています。また、高校生の受入れは、都立赤羽商業高校からが目立ちます。商業高校ということで、企業対応の担当者があることが影響しているようです。このほか、K T C 中央高等学院東京キャンパス、都立稔ヶ丘高等学校などからの受入れがあります。受入れ事業者については、各クラブ 1～3 社というのが多くなっています。回答数だけを見ますと低調傾向にあるようです。しかし、中学生職場体験、高校生インターンシップの受入れの把握ができていないクラブも多数ありました。上記の実数はより多いものと想定されます。クラブにおいて中学生職場体験、高校生インターンシップの受入れの把握を行い、受け入れているロータリアンに例会にてご報告いただくことはクラブの活性化につながるのではないのでしょうか。

2. クラブの青少年奉仕活動（ご報告。青少年奉仕的な要素のあるものも掲載しています）

① 東京北ロータリークラブの気仙沼奨学金交付事業（坂下博康社会奉仕委員長）

1 月 23 日から一泊二日で宮城県気仙沼市内にて開催された、東京北ロータリークラブ社会奉仕委員会活動「育英奨学金交付式」に参加しました。社会奉仕委員会 4 名と気仙沼ロータリークラブ会員 10 名で歓迎の宴席を設けて頂き、懇親を深めました。

翌日午前中は、前市議会議長を務めた臼井真一気仙沼ロータリークラブ会長が気仙沼の被災概要説明、復興状況を案内してくれました。その中で、「復興を早くするためには、素早い決断しかない。やる気のある企業しか行政は応援出来ないため、ビジョンを持ち復興する決意をいち早く示す必要がある」とのことをお話してくれました。また、復興予算の使い方も「早い段階で決断すること」で建築費が安く上がったことのメリットも教えて頂きました。

その後、気仙沼ロータリークラブ例会時に育英奨学金交付式を行いました。学校の先生から推薦理由の概要が紹介された後に、奨学生一人ひとりが決意の披瀝をしてくれました。どの奨学生も郷土を愛し、地域に貢献したい気持ちにあふれていました。今回の奨学金獲得は奨学生にとって小さな成功体験であったと思います。今後も成功体験を積み重ねて、将来の大きな成功につなげていただければ、我々の僅かながらの支援も、大いに役に立っているのでありましょう。被災地の完全なる復興と奨学生の今後益々のご活躍を祈念します。



<気仙沼奨学金の成り立ち及び経過について>

気仙沼ロータリークラブ会員の斉藤みつまる氏が私財を投じて、気仙沼ロータリークラブ 30 周年時に成立しました。東日本大震災の時にクラブ存続の危機に見舞われるも、全国のロータリークラブの協力でのこの事業が今もなお継続できている。一時金ではありますが、一生懸命勉強し、力をつけて故郷の復興に役立ててほしいと考えています。

② 東京東江戸川ロータリークラブ例会「インドでのポリオワクチン予防接種報告」

3月7日（火曜日）、東京東江戸川ロータリークラブの例会にお誘いいただき、東京東江戸川ローターアクトクラブ会員の藤森夏幸さんから1月下旬に実施されたインドでの子どもたちに対するポリオワクチン全国一斉予防接種事業の報告をお伺いすることができました。こちらの事業には日本から60名以上のロータリアン、ローターアクターが参加しました。藤森さんはニューデリーにてこの事業を周知する「ラリー」（写真参照。お祭りの行列のようで、楽しそうです）に参加するとともに、街中の集会所や戸別訪問にて子どもたちにポリオワクチン予防接種を行いました。予防接種を不安に感じる子どもも少なくなかったようですが、予防接種の後にいただくことのできるおもちゃを楽しみにしているとのことでした。



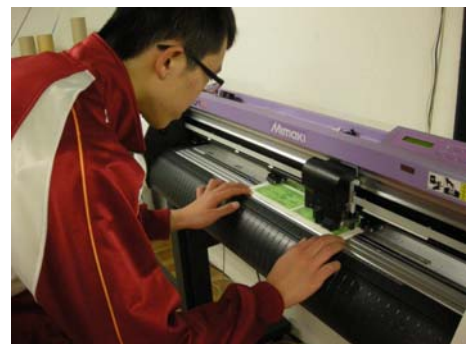
この事業にて、インド人の事業責任者のスピーチもあり、「遠く日本から、ワクチン投与活動に来てくれたことは、私たちを大いに勇気づけてくれた」とのコメントに感動をいただいたそうです。

例会にお誘いいただいたおかげで、貴重な体験をしたローターアクターの感動を提唱クラブのロータリアンが共有する良い機会にご一緒することができました。

③ 東京板橋セントラルロータリークラブ「赤羽商業高等学校インターンの受入れ」

2月8日・9日、東京板橋セントラルロータリークラブは青少年奉仕の一環として、都立赤羽商業高校のインターンを受け入れました。10年ほど継続しています。本年度は、高梁特殊印刷、南蔵院、茂木正光行政書士司法書士事務所の3事業所にて、高校生20名でした。

高梁特殊印刷では軽作業の体験を行いました。高校生が真剣にシートを印刷機械に合わせていました。南蔵院ではお寺の境内のお掃除や写経、礼儀作法、茶道などを行いました。茂木正光行政書士司法書士事務所では、行政書士・司法書士の業務の説明や作業体験（宅建業免許申請書作成）、また、区役所、税務署、法務局と回ってそれぞれの役所の管轄や証明書の取得をしてもらいました。合わせて、ロータリアンの金属加工会社にお邪魔して、社長との面談にも付き合ってもらいました。社長からは「最近、品質を向上させたとしても、お客様からは値下げを求められる。それだけでなく、中国の工場に取引をとられてしまった」などのご苦労話をしていただきました。また、国内の玩具メーカーへ部品を供給し、新たな取引を成功させているお話もしていただきました。



3. インターアクトの活動（ご報告）（畠山地区インターアクト委員長より）

① 沖縄分区インターアクターによる毎年恒例の「第25回 国際通りクリーン奉仕活動」

2016年12月16日（金曜日）、沖縄分区のインターアクターによる毎年恒例の「第25回 国際通りクリーン奉仕活動」が行われました。この活動は、沖縄県那覇市の国際通り（沖縄県庁北口交差点から安里三叉路にかけての賑やかな通りで、沖縄県を代表する観光スポット）の約1.4kmを清掃する奉仕活動です。当日は、インターアクター、顧問教師、ロータリアンの総勢約50人が参加し、16時45分に出発式を行い、17時から18時までの



約1時間の清掃活動、そして終了後は、活動参加者の皆様でジュースとお菓子による懇親会を行いました。この国際通りは、終戦後、焼け野原から県下でいち早く復興を遂げたこと、そして、通りの延長がほぼ1マイルであることから、「奇跡の1マイル」とも呼ばれ、その周辺地域は那覇市最大の繁華街となっています。このような、歴史的にも重要で大勢の県民や観光客が行きかう県内随一のメインストリートをインターアクターとロータリアンがともに汗を流し、和気あいあいと協力しながら奉仕活動することは、大変意義深い活動となっています。

（本稿は新垣宗一地区インターアクト委員より）

② 東京中華学校春節祭訪問中止

今年の春節祭は例年になく早い時期であったため、インターアクトクラブ各校の入試などと重なりました。調整を試みましたが、残念ながら最終的に中止せざるを得なくなりました。東京中華学校に対してはお詫びをし、「是非、来年は来校を」との有り難いお話しをいただきました。毎年、東京中華学校の日程確定が年明けになり、それからインターアクトクラブ各校へのご連絡となるため、調整が難しいです。

③ 沖縄分区インターアクト大会

1月27日（金曜日）に昭和薬科大学附属高等学校にて開催されました。点鐘に始まり、インターアクト沖縄分区代表であり昭和薬科大学附属高等学校インターアクトクラブの伊藤未由さん、沖縄分区顧問教師会長であり同校の長位好長先生のご挨拶、そして地区インターアクト委員の新垣宗一さん、同委員長の畠山信弘の祝辞の後、来賓・参加クラブの紹介をいしました。引続き、今年度優秀インターアクターの表彰式に移り以下の4名に授与された。

首里高等学校 大山結子さん

那覇高等学校 禰 葉子さん

興南高等学校 宮里詩織さん

昭和薬科大附属高等学校 石川美咲生さん

また、その他 49 名のインターアクターには感謝状が贈られました。

次にインターアクトクラブ 4 校（2 校は学校行事と重なったために欠席）の本年度活動報告がなされ、それぞれ共通・独自の活動が紹介されました。その後、地区ガバナーノミニージェグネートの新本博司さんにご挨拶をいただきました。また、長年、沖縄地区顧問教師会長をされていた西原篤一さんに「インターアクトへの熱い思いと感謝」と題して講演をいただきました。インターアクター・顧問教師・ロータリアンが感動するお話となり、拍手と花束をもって感謝の意を表し、最後の点鐘にて分区大会を終了しました。

終了後は、顧問教師とロータリアンにて懇親会を開き、活発な意見の交換がなされました。

④ 東京北部表彰状・感謝状授与式並びに会長・幹事会

2 月 26 日（日曜日）に日本大学附属第一高等学校にて開催されました。点鐘後、委員長の畠山信弘、顧問教師会長の浦澤孝俊先生の挨拶の後、上山昭治地区ガバナーに激励、挨拶をいただき授与式に移りました。

優秀インターアクターは以下 5 名で、本年度もガバナーより直接手渡されました。

日大第一高等学校 海老原亜美さん
関東第一高等学校 小林昂生さん
愛国高等学校 實方結南さん
潤徳女子高等学校 竹山智美さん
北豊島高等学校 金澤里乃さん

その他 39 名のインターアクターに感謝状が贈られました。

その後、ロータリアン・顧問教師より、また、インターアクターの後輩、そして卒業生代表よりそれぞれお祝いの言葉・感謝の言葉をいただきました。

なお、授与式の後、インターアクトクラブの会長・幹事会が行われました。次年度のインターアクト年次大会の進捗状況、3 月 19 日のインターアクト合同活動の詳細、4 月 23 日の在京・地区青少年奉仕包括成果発表会についての連絡がなされました。



【速報！】3 月 19 日、東京池袋西ローターアクトクラブの創立記念例会が開催されました！

東京池袋西ロータークラブが提唱し、ROTEX（青少年交換派遣学生 OBOG）を主体として 19 人での創立となります。創立記念例会には上山昭治ガバナー、吉田雅俊ガバナーエレクトも出席されました。上山ガバナーからは「ローターアクターは奉仕のパートナーである」旨の祝辞がありました。当地区のローターアクトクラブは 15 となりました。



連載！ 「青少年奉仕の基礎知識／第3回／ジャパンツアーとは？」

今号がお手元に届くころ、第 2580 地区のジャパンツアーが開催間近、もしくは真っ最中かと思えます。今回はそんな「旬」な「ジャパンツアー」についてです。さて、ジャパンツアーとは、誰が何処に何の目的で行くのでしょうか。ジャパンツアーとは、例年 3 月に約 10 日間、青少年交換プログラムの来日学生と派遣予定学生が合同で行うバスツアーのことです。京都、奈良、広島など日本の名所を訪れながら、日本文化や世界の平和について語り合います。ROTEX（青少年交換プログラムの派遣学生 OBOG の大学生）が企画し、期間中は ROTEX と地区青少年交換委員が入れ替わり立ち代わり学生たちをアテンドします。

なお、本年度の実施は 3 月 24 日から 4 月 1 日までの 9 日間、岐阜、名古屋、神戸、鳥取、広島、奈良、京都を回ります。

気仙沼と東京のローターアクター有志による「気仙沼仕事創出プロジェクト」レポート

① 1 月 19 日、浦上食品・食文化復興財団の助成金贈呈式

公益財団法人浦上食品・食文化復興財団の援助団体選ばれ、ホテル JAL シティ仙台にて開催された助成金贈呈式に参列しました。当日は、表彰式及び活動報告が行われ、その後の懇親会にて財団の選考委員、及び、受賞団体の皆様と活発な情報交換が行われました。震災から 6 年の月日が立ち、地域社会の問題点は細分化されております。これからは、各団体が奉仕の実践を通じて深めた知見を共有する大切さを感じました。



② 3 月 5 日、アレンジレシピ考案会

東京都板橋区にある仲町地域センターの調理室にて、アレンジレシピ考案会を開催しました。ご参加は、東京家政大学の学生 2 名、気仙沼仕事創出プロジェクトのスタッフ 3 名、香辛料・調味料会社の社長さん、公益法人協会の職員さんなど 9 名でした。気仙沼フードマイスター講座第 4 期にて東陵高校の生徒が考案した「さんま餃子」（マルトヨ食品さんの「さんまくん」（さんまの燻製）を使用）、「いか餃子」（ひまわり食品さんの「いかの一夜干し」を使用）の「を東京家政大学の学生がブラッシュアップするとともに、学生が考案したいかの一夜干しを使った「パエリア」を調理、試食しました。ブラッシュアップしたレシピ、また、いかの一夜干しパエリアのレシピについては、東陵高校の生徒、気仙沼の水産加工会社にフィードバックを行い、生徒のモチベーション、また、水産加工会社の商品開発やお客様への PR のヒントにさせていただきます。



4. ローターアクトの活動（ご報告とご案内）（地区ローターアクト広報委員会より）

① 地区ローターアクトからの活動報告

(1) 地区広報委員会主催 スクール ACT 三限目

1月15日（日曜日）、西池袋第二区民集会所にてスクール ACT 三限目を開催しました。私たち広報委員会ではロータリアンの皆様の例会にお邪魔して、30分という時間の中でローターアクトについてお話しをする「卓話」という活動を行っています。普段、なかなかローターアクターと触れ合う機会がなかったり、ローターアクトの存在自体ご存じなかったりするロータリアンの皆様にも、私たちの声を直接届ける事の出来る卓話は大切な場です。卓話の機会を有効に使える人に、沢山育って欲しい。そんな思いを持って、私たち広報委員会はスクール ACT というワークショップを3回に渡って開催して参りました。



最終回である三限目では、卓話の疑似体験を行って頂きました。参加した皆様に、「ローターアクトの歴史」、「第2580地区の今年の活動」、「新規クラブ提唱の道筋」など、ばらばらのトピックのスライドと原稿をお渡しし、自分の経験を織り交ぜて5分間のスピーチを組み立てて、グループ内で発表をして頂きました。最後には、各班の代表者に参加者全員の前での発表を行って頂きました。くすりと笑えるエピソードが盛り込まれたスピーチ、熱い思いが込められたスピーチ、どの発表も素晴らしく、拍手喝さいを送りました。

後半は、東京板橋セントラルローターアクトクラブの福田一輝さんによる卓話のお手本を通して見た後、これまでに卓話に行った経験のあるメンバーがパネルディスカッションを行い、ファシリテーターの進行のもと、卓話で気を付けていること、困ったことへの対処法、受けの良かった話題などについてお話ししました。自分の話し方について試行錯誤したり、時間に遅れて手に汗を握る思いをしたり、緊張で頭が真っ白になったり、様々なエピソードが飛び出しました。共通の認識として挙げたのは、笑いの取れる失敗談や小話が緩衝材になることです。

「卓話」は何度行っても緊張するものだけど、新しい気付きや出会いに溢れた素敵な場です。「卓話」という舞台の上で、存分にスピーチを行い、ローターアクトの発信源になってもらえたら、これ以上嬉しいことは無いと感じました。

(2) ローターアクト中央武蔵野多摩分区の招待行事「築地の魅力再発見ツアー」

1月29日（日曜日）、築地の場外市場にてローターアクト中央武蔵野多摩分区の招待行事として「築地の魅力再発見ツアー」を実施しました。参加者は、地区内外で総勢42名にご参加いただきました。行事の構成は2部構成。朝8時から10時までのフィールドワークと、10時から12時までのフィールドワークを基にした築地の魅力についてのプレゼンテーション&

ワークショップです。当日は、天気も良くまさにフィールドワーク日和。42名は8つのグループに分かれ、用意された軍資金を使って築地を練り歩き、魅力的に映ったものや場所を見付けてきてもらいました。わずか2時間というフィールドワークでしたが、その後のプレゼンテーションとワークショップでは、食の魅力について説明する班もあれば、築地で働く人々にフォーカスを当てる班、何気ない築地で見つけた看板の魅力を語る班



が登場したりと、どの班も内容が全く異なるようなプレゼンテーションを披露してくださり、各班の個性が際立つような発表がなされていました。

近年、豊洲移転問題も含めて連日ネガティブな意味合いで非常に注目を集めている築地ですが、日本の食の玄関であり、様々な人たちが行き交う交差点でもあるこの場所はやはり魅力に溢れていました。それを運営者自身も改めて体感することができるいいイベントでした。

② 東京東ローターアクトクラブ

<活動報告>

1月、2月、クラブ内の人数増強や、東分区の招待行事の打ち合わせに時間を割いてしまっていたため自クラブの活動は出来ませんでした。しかしその分、東分区の招待行事には普段クラブに参加していないメンバーも引っ張り出して、東京東ローターアクトクラブ一丸となることができました。自クラブの活動が少なくなっているのも、せめて「東京東ローターアクトクラブ」という名前はみなさんに覚えてもらおうと、地区行事、他クラブの活動には積極的に参加しています。

③ 東京池袋ローターアクトクラブ

<活動報告>

2月25日(土曜日)に献血例会を開催させて頂きました。当クラブが継続事業として、毎年開催させて頂いております。本年度も、赤十字様のご協力のもと、献血ルームの「池袋ぶらっと」にて、献血の講義と、実際に献血を行いました。献血の講義では、具体的な献血の流れや、献血後の血液の管理、さらに、血液の用途に関して講義を受けました。血液と言いますと、事故等の輸血に使われると想像してしまいが、実際は8割近くが病気の患者様に対する輸血だそうです。また、実際の献血では注意しなければことや危険性もありますが、献血前に丁寧に検査して頂き、本献血もスムーズでした。今後、献血例会を継続的に行い、また血液不足の現状を踏まえ、当クラブから献血の呼びかけや講義予定しております。



④ 嘉悦大学ローターアクトクラブ

<活動報告>

3月1日（水曜日）～3日（金曜日）の3日間、ホテルエンゼルグランディア越後中里温泉に合宿に行きました。皆でスキーをしたり温泉に入ったりしてメンバー間の交流を深めることができました。遊びだけでなく、今後の活動についての打ち合わせの時間を取り今後の活動をよりよくするために話し合いました。

<今後の活動予定>

例会の予定はまだたてていないですが、嘉悦大学ローターアクトクラブは大学基盤なので、新1年生の獲得に向けて動き始めています。

⑤ 東京ワセダローターアクトクラブ

<活動報告>

2月ということで「バレンタイン例会」を行いました。東京ワセダロータークラブの小澤様のレンタルキッチンスペースをお借りし、日本の伝統的な菓子の代表でもある「練り切り」と「チョコ大福」作りに挑戦しました。子どもから大人まで和気あいあいと楽しみながら和菓子作りをし、各会員の個性あふれる作品がテーブルを彩りました。和菓子作りを通し日本文化について改めて考えることができたと同時に、国際色豊かな東京ワセダローターアクトクラブらしく世界各国のバレンタインについて発表しました。世界の文化について学ぶことで日本文化の特異性や新たな魅力を発見。身近なイベントでも知らないことが多くあり、どんなことにも好奇心を持って視野を広げることは重要だと改めて感じました。また、初対面の人と自然に交流を深める上で、お互いに協力し合う機会を与えてくれる料理という手段は、これからの例会にも活かすだろうと思いました。

<今後の活動予定>

4月第1例会「英会話例会」

2017年4月2日、15時～

登録先：[宮永幹也 dk.mikiya@gmail.com](mailto:dk.mikiya@gmail.com)



⑥ 東京板橋セントラルローターアクトクラブ

<活動報告>

2月5日（日曜日）、2月第一例会として、青少年交換プログラムの来日学生との交流会を行いました。提唱ロータリーである東京板橋セントラルロータークラブで受け入れている、デンマークからの来日学生、フレイヤさんとの昼食会を行い、学校生活やデンマークのことなどを教えてもらいました。



⑦ 東京浅草中央ローターアクトクラブ

<活動報告>

2月19日（日曜日）に、東京板橋セントラルローターアクトクラブと合同でアロマセラピー例会を開催しました。アロマセラピーはエッセンシャルオイルを使用し、病気や外傷の治療、病気の予防、心身の健康やリラクゼーション、ストレスの解消を目的とした治療になります。アロマセラピーと聞くと女性向けと思う方が多いと思いますが、決して女性だけではなく健康にも関係していることから、男性にも知って頂きたいという想いで例会を開催しました。



今回の例会では実際に自分たちでアロマオイルを作成することができ、数十種類もあるアロマの中から自分自身で香りを選び、混ぜ合わす事で「自分だけのアロマオイル」を作成しました。自分自身で作成した事もあり、参加者の皆さんに笑顔でアロマの香りを楽しんで頂きました。

なお、東京板橋セントラルロータークラブで受け入れている、デンマークからの来日学生、フレイヤさんも参加しました。

<今後の活動予定>

合同花見例会

4月2日（日曜日）

第2580地区東京池袋ローターアクトクラブと第2590地区横浜東ローターアクトクラブと合同花見例会を開催いたします。当クラブとしては前年度も開催し、大変好評を頂けた例会になっております。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

登録ご希望の方は、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

幹事 山崎沙織 saori.0913@gmail.com

ローターアクトクラブ例会へのお誘い

上記にて、各ローターアクトクラブから「今後の活動予定」として、ローターアクトクラブ例会などのご案内がございます。この例会については、未提唱クラブのロータリアンのご出席を歓迎しているものです。ぜひ、ご興味ございましたら、ローターアクト活動に直に触れていただければと存じます。青少年奉仕はまず青少年に会うことからです。お問合せやお申込みは「登録先」のメールアドレスになります。

なお、ローターアクトクラブ例会への出席は、ロータリアンにとってもメーキャップになります。

5. 青少年交換の活動（ご報告）

① 地区大会

2月1日（水曜日）と2日（木曜日）、ホテルニューオータニにて2016-17年度国際ロータリー第2580地区の地区大会が行われ、ROTEXが2日目に募金活動とグッズ販売を行いました。募金活動は、本会議場出入り口付近でROTEXの栗辻翔大君はじめ、2016-17年度来日学生と第53期派遣予定学生も参加して行いました。同じく、本会議場出入り口付近にブースを設け、グッズ販売を行いました。参加人数はROTEX6名、来日学生3名、派遣予定学生3名で、みなお揃いのパーカーを着て活動に励みました。

② 茶道稽古

2016-17年度来日学生及び第53期派遣予定学生を対象にした茶道稽古が、裏千家東京茶道会館「今日庵」で行われました。

第8回茶道稽古 総参加者24名（来日学生8名、派遣予定学生8名、ROTEX・地区委員等8名）

第9回茶道稽古 総参加者23名（来日学生7名、派遣予定学生8名、ROTEX・地区委員等8名）

第10回茶道稽古 総参加者24名（来日学生7名、派遣予定学生7名、ROTEX・地区委員等10名）

③ フィールドトリップ

2月19日（日曜日）、文京区シビックセンター会議室にて、2016-17年度来日学生7名、第53期派遣予定学生7名、そして主催のROTEX3名が参加してフィールドトリップが行われました。今回の内容は、手話教室とブラインド体験でした。ブラインド体験では、来日学生と派遣予定学生がペアを組み、目隠しをして近くのコンビニエンスストアまで昼食を買いに行き、その後、目隠しをしたまま昼食を食べてブラインド（目が見えないこと）の疑似体験をするというものでした。また、実際に目の不自由な方にお越しいただき、お話しを伺う時間をつくりました。



「青少年奉仕情報」第22号発行にあたって

各クラブのみなさまにおかれましては日頃より青少年奉仕活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。本年度も残すところ3ヵ月となって参りました。本号も第21号に引き続き活発な青少年奉仕活動が展開されている様子をご覧いただけます。

みなさまはロータリーファミリーをご存知でしょうか。ロータリーの青少年を育成するプログラムに携わった全ての方々とロータリアンを総称する言葉です。このロータリーファミリーが一堂に会して交流を深める「ロータリーファミリーパーティ」が2月1日、地区大会一日目の夜に開催されました。正にクロスプロモーション（違った環境、文化で育った人たちが年代を超え交流し、自己に無いものを取り入れ次の成長に繋げて行く）を体現するイベントでした。その他、インターアクト、ローターアクト、青少年交換に関しまして活発な青少年奉活動が展開されている様子が掲載されておりますのでご覧ください。

来る4月23日には在京・地区青少年奉仕包括成果発表会が開催されます。インターアクト、ローターアクト、青少年交換に加え今年から職場体験・インターンシップ委員会からの報告も加わります。クロスプロモーション方式で大いにお互いの交流も図れる青少年奉仕の年次大会とも言える会です。是非ご参加を頂き青少年奉仕を体感してみてください。

今後ともみなさまのご理解をいただき、多くのロータリアンの方々が青少年奉仕のファンになっていくことを念願して止みません。今後ともよろしく願い申し上げます。

地区青少年奉仕委員長 藤掛靖元（東京浅草中央ロータリークラブ）

今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

クラブから、青少年奉仕活動の開催情報・ご報告（写真のデータとキャプションだけでもかまいません。随時募集中です）、また、本誌へのご意見・ご質問などをお待ちしております。

お問い合わせ／掲載希望などの連絡先

地区青少年奉仕委員会（担当；茂木）まで mitsu-motegi@msc.biglobe.ne.jp